

8 月定例教育委員会会議録【概要版】

開催年月日	令和 7 年 8 月 2 7 日（水）	場 所	市役所本庁 災害対策本部室
開催時間	13 時 30 分 から 14 時 30 分まで		
出席者	教育長	高森 賢一	
	教育委員	宮田 靖、久世由美子、甲斐千尋、遠田真央	
	参 与	丸山真二、池田元洋、岩佐正文、佐藤幸恵、岩切隆人、早瀬誠一郎、 吉田尚良、尾方農一、甲斐保孝、柴由美子、岡田健一	

◎ 開 会

高森教育長が開会を宣した。（13 時 30 分）

◎ 会議録の承認

7 月 23 日（水）に開催された 7 月定例教育委員会の会議録が承認された。

◎ 事務報告

◆教育長より以下の業務報告が行われた。

- ・ 市長とのランチミーティング
- ・ まつりのべおかばんば総踊り
- ・ 校長会との協議（長期休業期間について）
- ・ 教育講演会
- ・ 延岡地区人権・同和教育研究大会
- ・ 県北競泳競技記念大会
- ・ 延岡市 PTA 連絡協議会と教育委員会の意見交換会

◆教育委員より以下の報告が行われた。

宮田委員） 社会教育課の事務報告に記載されている 8 月 3 日にカルチャープラザのべおかで実施された延岡市子ども会育成連絡協議会の事業である「子どもフリーマーケット」を少し見せていただいたので、感想を申し上げたい。各地区の子ども会が出店者となって子どもたち自身の手で商品の売り買いをする事業で、特に午前中見せていただいた。午前中は大人が入らないで、子どもたちだけで運営していくという状況だったが、子どもたちの様子は大変活気があって楽しそうであった。学年に関係なく、

子どもたち同士で声を出し合いながら協力して活動している姿は子ども会活動の1つのよさかなあと感じたところである。また自分たちで物を売り買いするってということによる商売の楽しさだけではなくて、お金の大切さを知る金銭教育であったりとか、使わなくなったものを大切に再利用していくという、SDGsに繋がる教育であったりと、楽しい中にもしっかりとした目的のあるイベントになっているんだなあと感じたところである。いつものことだが、子ども会育成連絡協議会の役員の方々の尽力には頭が下がる思いをしたところであった。子ども会の数もだんだん少なくなっている状況にあると聞いているが、会場にはとてもたくさんの方が集まっており、多目的ホールの周辺もいっぱいの人であった。こういったイベントを通して、子ども会活動の理解が深まって広がっていった欲しいなあと思ったところである。

久世委員) 8月10日に行われた市民水泳大会に出店をという話になり、8月2日に出店する方々へ挨拶とお願いに行き、快く引き受けていただいた。6日は、松田丈志さんが大会に出るってということで、いろんな準備の話し合いをした。市民水泳大会は51回目で、かなり歴史ある大会である。今年は110名ほど参加があり、それに保護者、役員を入れたら約200名ぐらい会場に集まったんじゃないかなと思う。松田杯、久世杯というものがあるのだが、松田杯は、今年は福岡の北九州の子どもたちになったので、来年度も来なさいよって言ったら「はい」言っていた。来るかどうか分からないが、そういう話をして、頑張って帰っていったんじゃないかなと思う。16日は、17日の県北競泳記念大会の準備。これは10日の市民水泳大会と比べて、大体40名ぐらい、3分の1ぐらいの人数で、これも例年ならもっと少ないが、今年は40名参加してきたので、少しは水泳人口が増えたのかなと感じた。教育長には長い時間見ていただいたので、保護者の方も役員も皆喜んでいて、また来年もお願いしたい。この反省会、県北競泳記録会などの反省会などで、やってよかったなという話になったのと、市民水泳大会があそこまで盛り上がるんだったら、もっとやれるんじゃないかっていう話で、みんな頑張ろうという気持ちで終わったところである。

遠田委員) 7月25日に、方財小学校のプールでサーフィン体験をした。対象は4年生から6年生で、ちょっと天気が心配だったが、何とか大した雨も降らずに、無事終わった。授業の中でやったが、子どもたちも、先生たちも、僕たちもみんなすごく楽しめた感じだったので、そういう授業、みんなが楽しめるような授業が増えてくると、より学校が楽しくなるんじゃないかなあと思った。また、前回の定例会のときに「ささやかな幸せ」っていうことをみんなで出し合ったが、それを帰って家でやった。家族

3人で。子どもが1人なので妻と僕と子どもで。子どもは学校でちょっとやったことがあるって言っていたが、子どもとか妻が、こういうことに幸せを感じてるんだっていうことを改めて思えたので、相手も多分、僕が出したことに對してそう思ったんで、何かすごくいい時間だったなと思った。夫婦関係が上手くいってない人とかも、いいんじゃないか。親子だけじゃなくて、例えば会社とかでもいいかもしれない。そういうのを出し合うといいかなと思う。そこで僕が思ったのが、その「ささやかな」っていう言葉がすごくいいと思っていて、やっぱり、どうしても大きな幸せとか、そういうのに注目しがちだが、実はその「ささやかな」っていうのがすごく大事で、これって誰でも探せば持っていることで、その中のささやかな頑張りとか、ささやかな優しさとか、そういう何かテーマを変えてやっていくのも、また、より何か、新しい発見があるんじゃないかなと思った。

甲斐委員) 7月31日、社会教育センターであった令和7年度の延岡西臼杵いじめ問題対策専門家委員会に傍聴人として出席させていただいた。委員が5名で、各地区から各教育委員会の担当者、そして延岡の事務局が集まって会議があった。まずは文部科学省のいじめの重大事態の調査に関するガイドラインの説明。それから高千穂、日之影、五ヶ瀬地区や延岡市の生徒指導上の諸問題が発表されたが、いじめ問題って、やっぱりどこも頭を悩ませていることなんだなとよく感じた。延岡とは環境がちょっと違ったせいか、高千穂、日之影、五ヶ瀬っていうのは、親御さんたちが、やっぱり顔見知りの方がそれぞれ繋がっているらしく、ちょっとした諸問題に対しては、大きく問題になる前に、親御さんたちで解決をしていくっていう、そういう前向きな地区らしい。そういうのは延岡地区でも、保護者の方々の繋がりがっているのを大事にして生徒指導していくと、もっと変わった環境が作れるんじゃないかなと感じさせられた。それと、最終的には家庭での親の教育、しつけ、そういうものっていうのが、どの地区でも同様な意見であった。非常に勉強になった。

高森教育長) 先ほど挙げていただいた子どもたちのフリーマーケットについて、私の子どもが小学生のときに参加して非常に良い体験だったなと思って、その子どもが今年東京から帰ってきて、その話をしたときに、その失敗談を教えてくれて、実は小学生でフリーマーケットに参加したときに、その同じグループの人が他のところから買ってきたものが置いてあったので、それをまた売ってしまったと。そういう失敗をして、今回もいろんな失敗とかありながらもいろいろ学びもあったのかなと思う。ささやかなっていうことの話も非常に参考になった。それから西臼杵の親同士のきずなのことについて、先ほどPTAとの情報交換会の話もしたが、

その後にPTAのInstagramを見ると、教育委員会は数居が高いところだったけれども、そういうのをやって解消されたというようなことも載っていたので、そういういろんな団体がいろんなところで結びあって繋がりがあるっていうことが、またいろんなものの解決に繋がっているということもあるのかなと思ったところである。

◆各課からの事務報告

- 学校教育課長から、8月6日の教育ウェルビーイング研究開発プロジェクト打合せ、7日の新任ALT辞令交付式、7月期のいじめの認知件数などの生徒指導に関する状況等について報告があった。

◎) 今月に県内の教育長の研修会があり、自治体によってはいじめの認知件数が非常に少なく、逆に心配であると。ちゃんと見とれているのかなと、大きくなってから出てくるんじゃないかなと心配をされている自治体もあったので、いろんなアンケートだけではなく、いろんな目で子どもたちのいじめの小さいうちに発見して対応することが必要だという話し合いをしたところであった。

◎ 議 事

◆議案第15号 延岡市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則の制定

(教育政策課)

- 教育政策課長より、延岡市公告式条例が改正され、規則の制定改廃の際の公布手続について、市長の署名から記名押印に変更されることとなり、これに合わせ、教育委員会規則の公布においても同様の取扱い等にするための規則改正について説明が行われ、異議なく承認された。

◎ その他

◆延岡市小・中・義務教育学校医療的ケア運営協議会設置要綱について(学校教育課)

- 延岡市立学校に在籍する日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケアが必要な児童生徒の学校における医療的ケアが実施できるよう協議する「延岡市小・中・義務教育学校医療的ケア運営協議会」の設置要綱について説明があった。

◆ 9月定例会教育委員会の日程について（教育政策課）

- 9月定例会教育委員会については、9月24日（水）の13時30分から、災害対策本部室で開催する。

◎ 閉会

高森教育長が閉会を宣し、終了した。（14時30分）